

福祉経営コンサルティングレポート

テーマ

第 034 号

平成 23 年 12 月 1 日(木曜日)

「今から取組む

事業計画・経営計画」

発行 株式会社 経営開発センター

TEL(079)-285-0850

FAX(079)-285-0717

ホームページ : <http://www.kei-kai.com/>

Email : info@kei-kai.com

24年4月には介護保険法・障害者自立支援法の**制度改正**及び**単価改定**が実施される予定となっており、ここ最近では各種団体よりそれに関係する情報が多く見られるようになりました。皆さまの関心も高くなっていると思われます。

目まぐるしく制度改正が行なわれる中、今後の施設運営（経営）をどうしていくか？とお悩みの方も多いためと思います。そこでこの度は施設運営（経営）の**骨子**となる事業計画・経営計画に焦点を絞りレポートさせて頂きたいと思っております。

『えっ、もう事業計画・経営計画？』と言われる方も多いと思いますが、『あっ、と言う間に』年度末を迎えるのも事実です。

【1】事業計画・経営計画策定の概略

策定にあたっての視点・ポイントをステップ毎にご紹介させていただきます。

ステップ	視点 / 考え方	ポイント
(1)ビジョンの明確化	法人・施設の 経営理念、事業目的 は？ 法人・施設は何を目指すのか？ 施設運営（経営）を行なっていくうえで、 最も大切 にしていることは何か？	管理職層・リーダー層・現場職員を含めて、徹底的に話し合います。
(2)経営戦略の作成	お客さま（ご利用者・ご家族等） 満足度 の向上のためには？ 経営の安定化 のためにはどうしていくのか？ 地域社会 への貢献はどうしていくのか？ 職員の働きがい のある職場づくりのためには？	達成後の姿をイメージした具体的な行動計画とし、担当者・期限を決めます。
(3)予算書(数値目標)の作成	1年間に 内部留保 すべき額(必要収支差額)は？ 上記を構成する 収入・支出 は？ 上記を構成するのに必要な 利用者数(稼働率) 、 人員配置、設備投資 等は？	上記(2)の行動計画と連動していることが重要です。

【2】事業計画・経営計画のアセスメント

<p>形式的な事業計画ではなく、必達目標となる事業計画を作成していますか？</p> <p>行動計画及び予算書(数値目標)の達成後の姿(ゴール)が明確にイメージ出来ていますか？</p> <p>行動計画と予算書(数値目標)が連動していますか？</p> <p>現状の問題・課題をしっかりと認識し、その解決に向けた計画を作成していますか？</p>	<p>施設・法人の管理職だけでなく、現場職員まで浸透した計画を作成していますか？</p> <p>担当者と期限が明確になっていますか？</p> <p>期中において定期的に事業計画の進捗状況を確認し、達成に向けての軌道修正を行なっていますか？</p> <p>期末に、その年の事業計画が達成出来たかどうかの振り返りを行なっていますか？</p>
---	--

上記の項目は『出来ているから良い』、『出来ていないから悪い』を評価するものではなく、現状を明確にするためのものです。チェックをして頂き**気になる項目**がありましたら、**出来ることから一つひとつ**取組んで頂きたいと思っております。

次年度に向けて**今から**取組めることは何ですか？ 文責：株式会社 経営開発センター 福祉経営部 松本 和哉